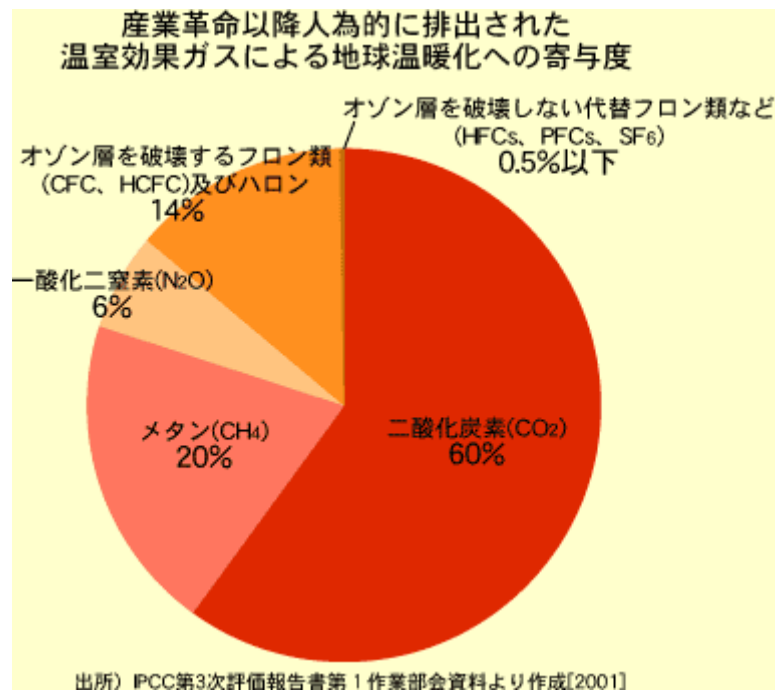


■ 温室効果ガスとは



<Memo>

- ・ 温室効果ガス (GHG : Greenhouse Gas)
- ・ 大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部吸収することで温室効果をもたらす気体の総称
- ・ 温室効果ガスとは水蒸気、二酸化炭素、メタン、フロン類、亜硫酸窒素など
- ・ 一番、温暖化への影響度の大きいガスが二酸化炭素
- ・ 実は水蒸気の影響が一番大きい、水蒸気は増加傾向に無いため、対象外となっている
- ・ 産業革命以降、化石燃料の使用が増え、その結果、大気中の二酸化炭素の濃度も増加
- ・ IPCC は、2100 年の平均気温は、平均 1.8 度から 4.0 度上昇すると、2007 年に発表
IPCC(気候変動に関する政府間パネル)
平均 1.8 度 (予測の幅は 1.1 ~ 2.9 度)、4.0 度 (予測の幅は 2.4 ~ 6.4 度)
- ・ 京都議定書における排出量削減対象となっている物質は 6 種類
- ・ 二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O) (= 亜酸化窒素)、ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)、パーフルオロカーボン類 (PFCs)、六フッ化硫黄 (SF₆)